

広島市植物公園

所在地：〒731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495

TEL：082-922-3600

URL：<http://www.hiroshima-bot.jp/>

開園時間：9:00-16:30（入園は16:00まで）

休園日：毎週金曜日（祝日の場合は開園）、年末年始

植物園概要：広島市中心部と日本三景宮島の間位置し、ラン科、バラ、ハナショウブ、日本サクラソウ、ペゴニア、ゼラニウムなどの収集・展示を特色として

います。また、夜開性植物のライトアップや花迷路など、植物に関するイベントを多数開催しています。

植物保全活動：広島県の絶滅危惧種調査、日本の絶滅危惧植物、貴重な園芸品種やワシントン条約付属書掲載種の栽培保存を行っている他、展示会、講演会を開催して普及活動に努めています。



ふるさとの植物を守る 広島市植物公園のとりくみ

広島市植物公園では、①自生地調査、②植物公園における生育域外保全、③実物の展示と解説、講演会や観察会の開催による普及・啓発などの活動を通じて植物の保全を進めています。

■自生地調査

野生植物の生育・分布状況は、絶滅危惧種を保全するうえで不可欠な基本情報です。当園は、1976年の開園以来広島県の野生植物の生育状況を明らかにする目的で自生地調査を続けており、これまでにイチヨウラン、ハクウンラン、ササバラ、シロバナハンショウヅルなど約10種類の広島県新産種を報告しました。また、県北西部の吉和冠山と広島市北西部の東郷山及び湯来町では重点的に調査を行い、それぞれのエリアにおけるフロラの概要を解明しました。このような調査結果は、2010年に広島大学や地元の植物研究家と共同で作成した広島県植物誌補遺や、広島県、広島市あるいは環境省のレッドリスト作成時に基本情報として提供しています。さらにレッドデータブックひろしま2011（広島県）では検討会委員の一人として職員が参加し、当園の証拠標本な

どをもとに223種の絶滅及び絶滅危惧種を選定しています。



広島県でも自生を確認したササバラ

■生育域外保全

当園では、日本の絶滅危惧種（環境省または広島県のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類以上のランクに掲載されている種）を栽培保存しています。

代表的なものには当園が最初に増殖を手掛けたオリヅルスミレ、全国的に自生個体が極めて少ないヤチシャジン、遺伝子レベルで個体が識別されているスズカケソウなど現在約120種類に達していますが、これらの多くは自生地調査の際に緊急避難的に採集した個体や、市民から持ち込まれた株です。したがって、ほとんどの種の場合、原産地情報のある個体を維持するために栽培保存している状況で、計画的増殖や自生地復帰を視野に入れた地元住民との調整など、環境省の生育域外保全ガイドラインに沿った活動には至っていません。今後はまずヤチシャジンを対象に、野生復帰や生育域内保全も含めた総合的な保全計画をたて、関係団体と協働で実施していきたいと考えています。



ヤチシャジンの栽培状況

また、本園の保有植物の中には、世界の野生ラン（1,500種類）、サボテン科（100種類）やザミア類（8種）など合計1,700種類のワシントン条約指定種（付属書I, II記載種）があります。これらのほとんどに原産地情報はありますが、生育域外保全につながるものと位置づけ、栽培保存に努めています。

一方、遺伝的多様性保全の観点からは園芸史的に貴重な品種を後世に伝えることも必要です。そこで、ゼラニウム（変わり葉を含む）、ハナショウブ、バラ、サクラソウ、変化アサガオなど約400系統を栽培保存しています。

■普及・啓発

120種類の絶滅危惧種のうち栽培増殖が比較的

容易な約50種類を園内の公開地に植栽展示し、開花期には分布、生育環境減少要因などを解説表示して入園者の関心を高めるように配慮しています。これらは常設の展示ですが、絶滅危惧種に的を絞った特別な企画展を平成16年度以降3回開催してきました。

このうち平成23年度は、9月17日から12月24日まで「ふるさとの植物を守ろう～植物の現状と保全への取り組み～」と題し、①広島県の植物相の現状、②広島県の絶滅危惧種と植物多様性保全への取り組み、③日本植物園協会の植物多様性保全事業の紹介という3部構成で、解説パネル、タイプ標本、絶滅危惧種の写真、文献類などおよそ300点を展示・解説しました。期間中に関連行事として行った植物公園シンポジウムには、研究者、行政担当者、自生地保全を実施している地域住民など約60名が参加し、植物保全について幅広い意見を交換することができました。また、ヤチシャジンの保全を集中的に討議するミーティングを開催した結果、広島県内に限らず、かつて自生地があった地域の関係者が協力し合って日本のヤチシャジンを保全していこうという機運が高まり、今後具体的な活動を開始することになっています。

以上のように広島市植物公園では様々な保全活動を行っていますが、植物を栽培・維持しながら展示するという植物園の基本的な役割自体が植物の保全につながるものと言えます。



平成23年の特別企画展

（世羅 徹哉、2013年1月）